ただのクルマ屋ではない!? 高い対応力と熱いハートで勝負

有限会社 リミット

代表取締役 荻原達哉（おぎはら） 氏
柏崎市松波4-11-39
Tel.22-0201 Fax.23-0272

柏崎市松波にある車販売・カー用品の「有限会社リミット」。代表取締役の荻原さんに色々とお話を伺いました。

「仕事は、ちょっと上級グレードというと変ですが、カスタム志向のクルマ販売やパーツ取付を得意としてやっております」

一九六一年生まれの六十一歳。柏小、一中、農業高校を経て、新潟工業短大に進学。卒業後、カスタムカー用品の販売会社に就職しました。

「その頃って、働いたら車を持つことが当然でしたよね。多くの若者がクルマをドレスアップする時代で、クルマ業界は活気がありました。家族は、お袋とカミさんの三人暮らしで、あと息子が二人いるのですが県外に就職しています。独立開業したのが平成元年。当時は、三和町のクロネコヤマトさんのとなりにありました。平成十九年に移転し、現在の松波に来ました」

趣味はクルマ。【かしわざきオフロードフェスティバル】を主催しています。また、コロナ禍前は、国内のレースをはじめ、毎年グアムの国際大会に参戦していました。本格的に海外レースに出るようになって十七年になります。年に一度の現実逃避、やめられませんね。二〇一八年には息子と出場し、総合四位になりました。私は、南米メキシコで開催されたオフロードレース【BAJA（バハ）1000】のメカニックで参戦。息子もアジアンラリーやラスベガスで開催されているデザートレースにメカニックとして参戦しております。

そんなこともあり、【パリーダカール・ラリー】で三菱パジェロに乗り一世を風靡した篠塚建次郎さんや、日野のトラックで参戦されていた菅原義正さんとは交流があります。

「最近は県内はもとより関東一円、北陸方面からもオーダーが来ます。キャンプや旧車もブームですしね。趣味の世界なので、すごい額のお金をかける人もいます」

これからの目標を伺うと。

「これからは、旧車の補修やカスタムに対応しながら、オフロード関係を更に充実させたいですね。求めているお客さんがいる限り、きちんと自分のできる範囲でやっていきたいです。人と同じことをしていても、ダメですからね。何か特色を出し、得意とすることをアピールしながら、日々、技術を磨いていきたいです」

趣味と仕事の両方を極めている荻原さん。何でも気さくに話してくださり、有意義な取材となりました。ありがとうございました。

（十人衆 ㊥・㊦ 取材）

柏崎元気人登場 なじょだね とは……？

当紙に掲載している『柏崎元気人登場 なじょだね』は、柏崎地域の事業所を取材に行き、代表者の人となりや会社に込める想い、どのようなお仕事を行っているかなどをご紹介するコーナーです。

取材には、商工会議所の会員で、会議所と会員の皆様とのパイプ役として活動を行っている小規模企業振興委員会の中から十名の方より『なじょだね編集委員』を務めていただき、毎月分担しながら取材・原稿作成を行っています。

様々なお仕事で活躍されている会員の方々をご紹介していきますので、ご期待ください。